

長期優良住宅対応 モルタル外壁通気工法

ラスモルⅡ[®]ハンクラック通気工法

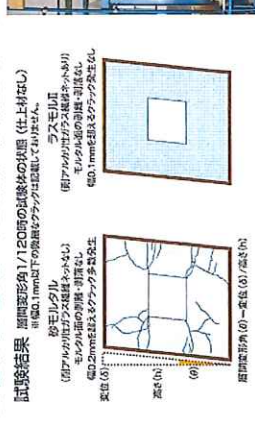
木造住宅外壁通気工法用軽量既調合モルタル

富士川が提案する木造住宅外壁工法
ラスモルⅡ ノンクラック通気工法とは

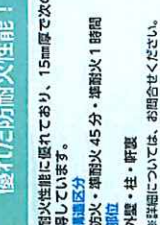
- 1 1枚壁(目地なし)で、自由度高い設計が可能
なモルタル外壁通気工法です。
- 2 胴縁上に面材を必要としないため、コスト削減・
工期短縮がはかれます。
- 3 乾式通気工法に比べて、端材(断熱物)の発生が
少なく、環境に配慮した工法です。
- 4 耐アルカリ性ガラス繊維ネットと高強度低吸水性
軽量モルタルラスモルⅡの組み合わせにより
クラックを大幅に軽減し耐久性も向上しました。

優れた耐震安全性！

■ 写真に示す開口部のある試験体で水平加力試験を実施(富士川建材工業(株) 構造試験室にて)



■ 写真に示す開口部のある試験体で水平加力試験を実施(富士川建材工業(株) 構造試験室にて)



● 耐震等級 正味重量 荷重：25kg (防湿紙貼入り) / 標準厚：15mm / 標準張り面積：約 1.6㎡

一モノづくりから仕事づくりへ

FUJIKAWA

リニューアール工法

特許取得済み
特許第 4047164 号
第 3626126 号

補強効果の高い短繊維と超弾性樹脂の相乗効果により瞬時の動きに耐え、穏やかな動きにも追従

超弾性 長期付着性 クラック防止 既存クラックの補修

特徴

- 引っ張り強度の高い短繊維を使用し、ジョイントクラックの防止。
- 超弾性アクリルカチオン樹脂により抜群の長期付着性・柔軟性を有し、下地の動きに対して追従します。
- 仕上材への接着材の役目を果たし、ネットとの併用で大壁施工が可能。
- 既存下地の活用で廃材処理費の削減に寄与。



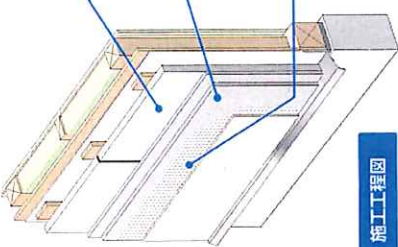
● 既存サイディングの変形、割れ、欠損などがある場合は事前処理が必要です。
(モルタルでの欠損部埋め戻し等)

シーレックス AP は、現場施工用の水性シーラーとして開発した「カチオン性のアクリルエポキシ」
です。優れた速乾性を有し、下地圧縮矯正、加断下の損傷に優れた効果を発揮します。

弾性下地調整モルタル (type II)
カーボン・アラミド繊維に比べ、引っ張り強度の高い「超高分子ポリエチレン繊維」を使用し、クラック
を防止。「超弾性アクリルカチオン樹脂」により、抜群の長期付着性・柔軟性を有し、
断熱材下地の変形及び断熱材の剥離に耐え、仕上材への接着材の役目を果たします。

耐アルカリ性ガラス繊維ネット
工業用ダイヤモンドの一種「シリコニア」の含有率が高く、耐アルカリ性・耐腐蝕性に優れた、耐アルカ
リ性ガラス繊維ネットです。リニューアール工法において、弾性下地調整モルタルの表面に貼せらるること
で、クラックや剥離・脱落を抑制し、いつまでも美観を守り続けます。

(注意事項) 本工法は下地の補修工事、防水工事は含まれておりません。



コンクリート・モルタル・フェノールフォーム板・スチレンフォーム板・ウレタンフォーム板・水電板・スレート板・窯業系サイディング板・
ケイ酸カルシウム板・FRP(不飽和ポリエステル樹脂)・強化ビニル板・強化ビニル板が適用外となります。ご注意ください。
※クラックの発生している既存壁の補修にも対応します。また下地の補修は、各メーカーに依頼してください。
※弾性下地調整モルタル type II は、弾性下地調整が必要な場合は、最寄りの弊社支店、事務所へお問合せください。



富士川建材工業株式会社

http://www.fujikawakenzai.co.jp
E-mail: main@fujikawakenzai.co.jp F250-0002 東京都港区品川3-13-15 TEL:045-772-1811
FAX: 2013-1-4000